

## 平成27年度 第1回 栄区傷害サーベイランス分科会 議事要旨

### <全体講評>

- ・再認証審査の際は、取組実績よりもその取組をどう評価しているかが重視される。次回は実績だけではなく、アウトカムについてどのように評価するのかを提示してほしい。
- ・セーフコミュニティの進め方としてStep2に「態度・行動の変化」とあるが、環境の改善や法制化などのアプローチもあるので、注意してほしい。
- ・地域福祉保健計画について、住宅施策などハード整備も含めた総合的な計画として欲しい。
- ・地域福祉保健計画の策定とサーベイランス分科会の関連や位置付けについて具体的に示してほしい。
- ・分科会内の各種団体との連携や分科会同士の連携をより推進してほしい。
- ・専門家を上手く活用して取組を進めてほしい。

### <分科会への評価・助言要旨>

#### ①こども安全対策分科会

- ・小中学生の事故対策についても、教育委員会と連携して取組を進めてほしい。
- ・子どもと高齢者に共通する課題として家庭内の事故が挙げられる。分科会間で連携して取組を提示できるのではないかな。
- ・児童虐待予防のための危険予知や育児支援に関する内容をメッセージとしてリーフレットに盛り込んだ方が良くないかな。

#### ②スポーツ・余暇安全対策分科会

- ・ウォーキングのメリットについては、生活習慣病の予防や中年期からの認知症予防になるなどのエビデンスがあるので、そのような良い面もアピールしてはどうか。
- ・ウォーキングで転倒・骨折事故を減少させるという指標については、専門家に相談し、再検討したほうが良くないかな。

#### ③交通安全対策分科会

- ・センターラインを消して、見かけ上道を狭くするというのは画期的な取組である。
- ・学校や知的障害を持つ子どもの視点から交通安全を考えると、問題が明確になることもある。
- ・自転車に対する法的な罰則が厳しくなり、世間の注目も集めているので、これを機にヘルメットの着用についてさらに取組を進めて欲しい。ヘルメット着用に関するデータも、できるだけ多く抽出して欲しい。

#### ④児童虐待予防対策分科会

- ・再認証に向けてはアウトカムが求められるので、EPDSで把握したハイリスク者を減らしていくことが重要である。現在指標として挙げられているのはインプットのみで、アウトカムは具体的に上がっていないので、少なくとも最新の割合については押さえておく必要がある。

#### ⑤高齢者安全対策分科会

- ・今後、高齢化の進行に伴う要介護認定率の自然増が発生すると考えられるため、取組の評価が過小にならないように注意してもらいたい。
- ・ヒートショック対策については、熱心な住民の方々が取組に参加しており、そこを PR してほしい。
- ・熱中症も高齢者の命を奪う事故となるので、対策を行うことは非常に重要な取組である。指標に入れてもらえればと思う。

#### ⑥自殺予防対策分科会

- ・生活困窮者は自殺に傾く方が多いと言われているため、区役所内でも各部署が連携して対策を行うべき。

#### ⑦防犯対策分科会

- ・振り込め詐欺の背景に注目して、例えば認知症であれば、そこに介入して再発を防ぐところまで評価の対象にしてはどうか。
- ・それぞれのケースの事例を挙げて、対策方法を具体的に取組として行う必要があるのではないか。
- ・体感治安の測定は非常に難しいが、満足度 50%以上を目標とする際、被害に遭いやすい年代の満足度を高めていくということが効率的・効果的だと思う。
- ・施策に満足していることと不安ということが対になっているのか疑問である。

#### <地域福祉保健計画への評価・助言要旨>

- ・論点5の生活困窮者の支援について、生活保護受給世帯の話が中心になっているが、相対的貧困世帯なども含んだ書き方にするよう再検討した方が良い。
- ・論点1については、高齢者の居住環境についての言及もあった方が良い。高齢化や認知症により住む家がなくなる方への介護施設の受け皿など、住まい提供の施策についても計画に落とし込んだ方が良いのではないか。
- ・地域福祉計画の策定とサーベイランス分科会の関連や位置付けについて、具体的に分かりやすい形で示してほしい。
- ・既存の施設や資源をどのように転用していくかということを地区ごとに考えていく必要がある。